
S.B.O.

笈川シロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S・B・O・

【Nコード】

N6072J

【作者名】

笈川シロ

【あらすじ】

国営密偵育成組織S・B・O・に身を置く、素材は良いのに適性11.7%(!)のランクS級スパイ・ミナキは、国家スパイに昇格する最後のチャンスとしてある任務を命じられる。*ハリウッドもどきのアクションとファンタジーを行ったり来たりするお話です。

プロローグ

昔々あるところに、フェアリアと呼ばれる国がありました。

そこは代々女性が統治する、いわゆる「王国」。

どの時代でも女王様は大変すばらしい人であり、

また周りには海が広がっていて他国に攻められることもほとんど無かったので、

そこに住む人々は平和に、そして幸せに暮らしていました。

けれどこのフェアリアには、大きな秘密がありました。

そしてそれを知っているのは、

もうすぐ女王となる姫君ただ一人だったのです。

真夜中。

このとき電球やそれに代わるものはまだ発明されておらず、当然起きている人は全くと言っていいほどおりません。

けれどただ一人の例外がいて、それが件の姫君くだんでした。

姫君はふだん着ている清楚で、それでいて華やかな紅のドレスのまま、

夜の宝物庫に降りていきます。

そこには代々受け継がれてきた宝物の置かれていて、

実は姫君は無闇にそこに入るなど、いつも忠告を受けていました。でも姫君がここに来るのは、一度や二度の事ではありません。

姫君はこの国に姫君として生まれたことをひどく退屈に感じていたのです。

教養、

作法、

そして身を守るための護法。

本当は即位を控えた身ですなのから、

姫君がやらなければならぬ事はたくさんあります。

しかしそれらすべて、じぶん秘密を知る者にすれば全く必要無い。

姫君はそう思っていました。

逆に姫君が必要としたものは、この宝物庫ともう一つ、

それは月を見ることでした。

今宵、紺碧の空にぶら下がる月を、姫君はまだ見ていません。けれど姫君は確信を持って言えます。

今夜も三日月である、と。

そしてそれは明日も明後日も変わらず空に在^あって、
もしも私たちがそこにいたなら不思議だ、と思うことでしょう。
ですがこの国 いや、この世界の住人にとっては、

いつも通りの当たり前な光景でした。

何故、誰も何も疑問を抱かないのか。

月をあくまで三日月なのか。

答えは簡単。

そこが、ある作家によって創られた一つの物語の為の舞台だった
からです。

御伽^{おとぎ}のようなこの世界 気が付いたのは何時^{いつ}だったかしら？

プロローグ・絵本の中の姫君

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6072j/>

S.B.O.

2011年10月9日18時09分発行